

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ティラド第三工場新築工事	階数	地上1F
建設地	秦野市曾屋937-1ほか13筆	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	平均居住人員	40人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2021年1月13日
敷地面積	7,260㎡	作成者	(株)創和加藤設計
建築面積	6,003㎡	確認日	2021年1月13日
延床面積	5,769㎡	確認者	(株)創和加藤設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.4

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気環境	N.A.

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	N.A.
耐用性	3.0
対応性	3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

生物環境	2.0
まちなみ	2.0
地域性	1.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 2.8

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

建物外皮の	N.A.
自然エネ	N.A.
設備システ	N.A.
効率的	N.A.

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源	3.4
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

地球温暖化	N.A.
地域環境	2.7
周辺環境	2.7

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
工場用途の建物のため隣地及び道路から極力距離を離し、建物高さを必要最低限の高さとする事で周辺環境に配慮した。	0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
0	空間にゆとりをもたせ、更新性に配慮した。
Q3 室外環境(敷地内)	0
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
0	躯体と仕上げ材を容易に分解可能とすることで、資材の有効活用に配慮した。 自動水栓及び節水型便器を採用。
	LR3 敷地外環境
	適切な照度及び照度範囲を設定し、屋外広告物照明は設置しないことで光害に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される